

トレイルランニング を楽しむ人



市議会

今回はトレイルランニング(トレイル)を楽しんでいる皆さんにお集まりいただき、その魅力や市内で開催される「ハセツネ」^{*}についてお話を伺いました。

^{*}ハセツネ 日本山岳耐久レース～長谷川恒男CUPの通称



秋川はバーベキューの聖地とも言われているけれど、トレイルの聖地と発信してもいいのかな

〈トレランとはどんなスポーツですか?〉

- 退屈しないランニングとウォーキングだと思つ。走るのは山。ロードだと止まると負けみたいな罪悪感があるけど、山だといつでも止まつたり歩いたり走つたりが選べるところが好き
- ロードを走つていた頃は足に負担がかかるので、よく痛めていて。トレイルを始めた知人からの「山は地面が土だから足に優しいよ」という誘いがきっかけで始めた

〈初心者でも楽しめるものですか?〉

- あきる野市には距離が短く手頃に楽しめる山が近くにあるので、初めてでも楽しめます
- 体を動かし汗を流して、土や落ち葉、季節の景色が広がるトレイルを走る。気持ち良い山の中を走り、癒やされる時間こそが魅力かな

〈本市のトレラン環境は、いかがですか?〉

- 街が近いので、何かあってもすぐ下りてこられる
- フレア五日市のような施設もある
- トイレはむしろ相当あるよね
- 土日には全国からランナーが集まってきて走っている
- 「ハセツネのコース走りたい放題だね」と羨ましがられます。秋川はバーベキューの聖地とも言われているけれど、トレイルの聖地と発信してもらつてもいいのかな

〈ハセツネについては、いかがですか?〉

- 誇らしいです。トレイルをやつている人は自慢です
- 地域が盛り上がり素晴らしい。楽しんで帰っていくのを見ると嬉しい
- 「ハセツネで10時間切った」などとランナーの中でレベルを示す、指標となる大会
- トレイルといえど、ハセツネかもしれない
- ゴールが変わって、泥臭いイメージが華やかに
- 五日市中学校がスタートで、五日市会館がゴールというのが伝統だった
- 今回、檜原街道からのスタートもよかつたですね
- 今まで大会を見に来ていなかつた人がファニッシュ地点のフレア五日市に来てくれたのもよかつたな
- ハセツネ出場がきっかけで引っ越ししてきた。そういう移住者多いですね
- 私も。トレイルができる環境に住みたくて

〈市や市議会に望むことは?〉

- リアルタイムに近いSNSによる情報発信
- 子どもたちが山や川など自然に触れられる施策をつくって欲しい
- トレイルの環境は揃っているけど、終わった後、気楽に飲める環境とか
- 3時位に定食を食べれるお店が欲しいね
- トレイル関連の店があるといい
- 山に入ったとき、ぼろぼろの道標がある。ウェルカム感が出るように刷新して欲しい



第3回臨時会議

開 会 会 議

議案審議

あきる野市の
こんなことが決まりました。

第3回臨時会議	11月11日
12月定例会議	会議期間 22日間
開会会議	1月6日

11月27日～12月18日

12月定例会議の議案は
諮問…………… 1件
市長提出議案…………… 25件
議員提出議案…………… 1件

Pick up

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧いただき、議会事務局へお問い合わせください。

Pickup 2 中小企業の事業資金の円滑な調達を支援するため条例を改正します。

〈議案第88号〉 あきる野市中小企業振興資金融資あつせん条例

中小企業の事業資金調達を支援するため、市が直接融資していた仕組みを、あっせんする形に改めるなど条例を改正します。

こんな質問が出ました。

まで4週間ほど要していたが、
2週間程度に短縮できる。

(議決結果 全会一致で可決)



A Q
返済が滞るなどトラブルが発生した場合、市の責任や取るべき対応に改正前と改正後で大きな変化はあるのか。
改正前は、債務が償還できなかつた際の特定金融機関に対する損失補償や償還方法を変更する場合、特定金融機関と改正前は、債務が償還できない場合、市が直接融資すべき対応に改正前と改正後で大きな変化はあるのか。
この改正によって、申込みから融資の実行まで、どの程度、時間が短縮されるのか。
現在、申込みから融資の実行

Pickup 3 令和8年4月1日から秋川渓谷瀬音の湯の利用料金を改定します。

〈議案第89号〉 あきる野市十里木・長岳観光施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例

物価上昇や下水道使用料の値上げなどにより、経営状況の悪化が見込まれる中、利用者が満足する継続的なサービスを提供していくため、利用料金を改定します。

こんな質問が出ました。

試算になるが、営業利益が約2300万円のマイナスとなる。この場合、指定管理者である新四季創造株が負担することになるので、持続的な安定経営が困難になる。

(議決結果 全会一致で可決)



A Q
上げ幅を設定した理由は、入浴料と宿泊料の引上げ額を3つの形で試算した結果、入浴料を見直し宿泊料を4千円値上げする形に決定した。そのことで、約1190万円の営業利益が見込まれるが、物価上昇や人件費の高騰は今後も継続する見通しであり、今の収支状況が将来的に継続するとは限らないため、長期的な視点で持続的に安定経営を行なうには、適正な料金水準への見直しが不可欠と判断した。
料金改定を行わなかった場合はどうなるのか。

Pickup 1 令和8年4月1日から東秋留駅南口車両折り返し場が利用できます。



こんな質問が出ました。
自転車に限らず、供用開始に伴い、様々な事象が発生することが予想されるので、利用状況を注視しながら、今後、適切に対応していきたいと考えている。

(議決結果 全会一致で可決)

A Q
駅に近いので放置自転車など、色々な課題が考えられると思う。どのように対応するのか。
現時点においては、第8条に委任規定を設けており、放置

条例第5条第4号で車両折り返し場が駐停車禁止になつている。利用者から苦情が来ないか懸念しているが、市の見解は。

条例第5条第4号で車両折り返し場が駐停車禁止になつている。利用者から苦情が来ないか懸念しているが、市の見解は。

(議決結果 全会一致で可決)

Pickup 4 国の特定地域型保育事業等の運営に関する基準が改正されたことに伴い、市の家庭的保育事業等に関する要件を緩和します。

家庭的保育事業者等が保育内容の支援や代替保育等に係る連携施設を確保することが著しく困難な場合は、確保しないことができるよう規定を整備します。

こんな質問が出ました。

A Q 市内の家庭的保育事業者で、連携施設の確保が難しいといった状況はあるのか。市内には、小規模保育施設が5園あるが、全ての園において連携施設が設定できている。



Pickup 6 地震・台風等災害対策経費の修繕費を追加します。

〈議案第96号〉 令和7年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)

こんな質問が出ました。
指定避難所である五日市会館敷地内の応急給水弁が腐食したため、修繕費を追加します。

A Q 応急給水弁は、応急給水栓の部品の一つ。五日市会館敷地内の給水栓は令和元年度に設置しており、設置から6年が経過している。
腐食や劣化が想定される箇所について、点検や予防策は。応急給水栓は、常に使用できる状態にしておく必要があるため、年に一度は点検を行っていく。予防策としては、誤った使用が故障の原因となることも考えられるので、市民が正しく使用できるよう、防災安心地域委員会や自主防災組織を中心に応急給水栓を使用

(議決結果 全会一致で可決)



Pickup 7 「最高裁判決を真摃に受け止め、生活保護利用者に対する誠実な被害回復措置を求める意見書」は提出しません。

〈議員提出議案第7—3号〉 最高裁判決を真摃に受け止め、生活保護利用者に対する誠実な被害回復措置を求める意見書

最高裁が違法とした生活保護基準引下げに対し、改定前との差額保護費を全ての生活保護利用者に速やかに支給することや違法引下げ改定の経過の検証等を政府に求めるものです。反対議員が多かつたため、意見書は提出しません。

こんな意見が出ました。

A Q 最高裁判決を軽んじるものでも、生活保護受給者への救済そのものに反対するものでもない。一方、全額補償は判決の射程を超えると考え、法的根拠に基づく適切かつ迅速な補償を求め、反対する。

〔意見〕 国民の権利である生活保護への差別をなくすべき政治がバッシングを煽ってきたことを深く反省し、国は、生活保護利用者に政府として謝罪し、減額した保護費の差額全額を差別なく補償するべきと考え、賛成する。



Pickup 5 「希望の家」の新しい指定管理者を決定しました。

「希望の家」の管理運営は、社会福祉法人SH-IPが行うことになりました。指定期間は、令和8年度からの5年間です。

こんな質問が出ました。

A Q 指定管理者が替わるときの引き継ぎは、いつ頃からどういった内容を想定しているのか。引継ぎは、12月定例会議で議決された後、現指定管理者とも調整を行い、可能な限り早く開始することが望ましいと考えている。内容は、利用者の個々の特性や課題等のヒアリング、また、新たな職員が実際の支援に入つてもらうなどを想定している。



(議決結果 全会一致で可決)

管理者のノウハウを生かした様々な活動を行うために、職員が利用者一人一人の状況を把握し、利用者及び家族との信頼関係を築くことが必要であると認識している。

聞いてみたいなこと

こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 48件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から「本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

終活支援の取組の進捗状況について



浦野 治光
(自民党志清会)



令和6年9月定例会議の一般質問で、終活支援の取組について質問し、市からは、対象者の属性を問わない相談支援など、包括的に受け止める支援体制を構築していきたいなどの答弁がありました。その後の終活支援に関する取組の進捗状況を伺う。

A

包括的な支援体制の構築は、令和7年度から健康福祉部の各課に配属していた保健師を福祉総務課に集約し、保健師が地区活動等を行う中で、関係機関等と連携を図り、取り組んでいる。その中で、終活に関する相談や終活が必要と思われるケースの把握も行っている。また、終活に関する実態把握については、保健師が把握している状況を踏まえつつ、現在、地域包括支援センターと実施方法を協議している。市では、引き続き、国の動向等も注視し、終活支援体制の仕組みづくりに取り組んでいく。



他にまちづくりの取組及び進捗状況について質問した。

地域経済の活性化について



中村 一広
(自民党志清会)



地元商店や飲食店などが継続的に活用できる仕組みづくりや市民が利用しやすい決済環境の整備について、どのように考えているのか。

A

商工会と連携したキャッシュレス決済の導入に関するデジタル化促進セミナーを開催するなど、事業者の理解を深め、引き続き、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいく。

商店会同士の連携や活性化に向けた支援をどのように進めていくのか。

あきる野商店会連合会や商店会、地域団体とあきる野マルシェを開催し、連携強化に努めている。今後も、情報提供やイベントでの支援などに取り組み、連携や活性化を図っていく。



他にガソリン税について質問した。

中小企業の金融支援について



斎藤 成一
(自民党志清会)



令和5年12月定例会議で、市内の中小事業者が利用できる融資制度について、種類や利用状況を質問し、更なる事業者支援を求めた。

A

制度の見直しを進めており、本定例会議で、預託金制度の廃止や対象者の拡大等の規定を整備したあきる野市中小企業振興資金融資あつせん条例を議案として提出した。

歴史・伝統を受け継ぐ文化活動について、どのような計画があり、実施されたのか。農村歌舞伎、お囃子・獅子舞は、保存会等の人から歴史等を教えてもらい、専門

間を通じた米づくりの体験、自然を生かした醤油づくりを見学するなど、各学校が所在する地域の特色に応じた体験活動を実施している。

令和7年度の教育方針で各学校が本市の豊かな自然フィールドを生かした体験活動や、歴史・伝統を受け継ぐ文化活動、地域の人とともに位置付け、授業改善を推進することが示された。市内の学校で、自然フィールドを生かした体験活動について、どのような計画があり、実施されたのか。

授業改善について

授業に地域の人を招いたり、一緒に美化活動等に取り組むなど、地域の人々が関与している。児童・生徒の学びの質の向上につながると捉えている。

地域の人とつくる協働活動について、どのような計画があり、実施されたのか。



斎藤 成一
(自民党志清会)



市議の
Q&A
市

視覚障がい者への支援について



国松まさき
(自民党志清会)



産後ケアについて



子籠 敏人
(自民党志清会)



Q 産後ケアの市内でのニーズや利用が増える中、利用できる期間を拡大してほしいとの声を、利用者と提供者の双方から受けている。産後ケア事業を行っている自治体の中には、実施施設によって受入月齢が異なる提供体制をとっているところもある。このような取組も参考としつつ、本市でも利用期間の拡大を図ってほしいと考えるが、見解は。

A 宿泊型と通所型の期間については、過去に3か月から7か月に期間を拡大した経緯もある。この期間については、施設の対応が可能かどうかなどの確認もしながら、可能な限りサービスの拡充を図っていかたい。

A 施設改修の支援について、速やかな予算化と実施を求めるが、今後の見通しは、令和8年度の当初予算に計上し、速やかに実施していきたい。

他にマンホール、がくどうひなんじょ、図書館の周年事業について質問した。

Q 視覚障がい者に対する主な支援策は、障害福祉サービスによる同行援護や居宅介護、活字文書読み上げ装置や視覚障害者用拡大読書器などの日常生活用具給付事業による給付、音声版及び点字版の広報あきる野の配付のほか、東京都と共同でスマートフォン体験会を市内において実施。

A 視覚障がい者に限らないが、人材確保策については、都度講座開催や、資格取得にかかる費用助成など、ガイドヘルパー人材を確保する取組を検討できないか。

Q ガイドヘルパー養成講座は都内で実施されている。都との連携により地域内での講座開催や、資格取得にかかる費用助成など、ガイドヘルパー人材を確保する取組を検討できないか。

A 視覚障がい者に対する主な支援策は、障害福祉サービスによる同行援護や居宅介護、活字文書読み上げ装置や視覚障害者用拡大読書器などの日常生活用具給付事業による給付、音声版及び点字版の広報あきる野の配付のほか、東京都と共同でスマートフォン体験会を市内において実施。

A 視覚障がい者に限らないが、日常生活用具給付事業で対象となる用具について、市ホームページで公開されないため、利用者が毎回電話で問い合わせが必要となる。市ホームページで公開できないか。

Q 視覚障がい者に限らないが、近隣自治体の状況等を調査・研究していく。

A 利用者等の利便性の向上が図られることから、実施に向けて検討していく。

Q 本巣市における低出生体重児康手帳では標準的な成長曲線が中心となっており不安を感じるケースもある。一般的な母子健康手帳では標準的な成長曲線が安らかに成長を見守ることができるよう導入が進められた。

A 市では低出生体重児について、医療機関からの連絡や出生通知票により把握が可能となっている。把握次第、地区担当保健師が保護者へ連絡し、確認する中で手帳を受け取っていない場合は、必要に応じて渡す対応を必ず行っていく。

A 令和6年度の出生数366人中41人。出産医療機関から当該児の退院に合わせて、こども家庭センターに連絡が入り次第、地区担当保健師が速やかに保護者に連絡し家庭訪問等を行い、保護者が安心して育児ができるよう、必要な情報提供を行うこととしている。その後も相談に応じている。

リトルベビーハンドブックについて



大久保 昌代
(公明党)



あきる野市産業祭について



堀江 武史
(自民党志清会)



A 特設ステージの更なる活用は、運営委員会と協議しながら、より魅力的な産業祭となるよう、家族みんなが楽しめる内容や地域色豊かなイベントなどを検討していく。

A テーブルや椅子に会社のPRをしてもらうなど協賛を募ることはできないか。

A 飲食スペースに対しての協賛については、新たな財源確保の意味でも、検討していきたい。



自然・農林資源を活用した 地域価値の創出について



ひはら 省吾
(自民党志清会)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事



命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



業紹介などの支援を行っている。林業の成果目標は定めっていないが、農業では総合計画に定めた新規就農者数の目標を達成している。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

プロ野球国内独立リーグ新球団誕生に伴う市の取組について



増崎 俊宏
(公明党)



青梅市と本市を拠点とするプロ野球国内独立リーグの新球団、東京レジデンシャル(仮)の誕生が発表された。協定項目の一つである市民球場の利用について、球団の活動が既存の市民利用に与える影響は。

Q 新球団の活動が既存の市民利用に大きな影響を与える範囲内での利用を確認しており、地域団体との交流を含め調整を進めていく。

A 試合開催時、市民球場周辺での交通渋滞、駐車場不足及び交通事故等の安全対策は。今後、東京レジデンシャルと協議を進め、関係部署、関連団体等と調整・連携を図るとともに、地域の皆さんとの理解を得ながら対応していきたいと考えている。



クマの出没について



清水晃
(明るい未来)



Q 新球団との連携事業をフックとした、市内外の企業への新たな企業版ふるさと納税の募集や、市内企業へのスポンサー・シップ仲介・促進を行う考えは。

A プロ野球独立リーグは、本市で試合を行うなど、スケールの振興と併せて地域活性化に大きなチャンスがあると捉えている。新球団の活動が進む中で、様々な可能性を模索していく。



クマの出没について



清水晃
(明るい未来)



Q 市議のQ&A

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



業紹介などの支援を行っている。林業の成果目標は定めていないが、農業では総合計画に定めた新規就農者数の目標を達成している。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。

本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

A 林業では森林環境譲与税を活用した林業現場体験ツアーや、とうきょう林業サポート隊制度により担い手確保を支援している。また、農業では新規就農者相談窓口や研修あっせん、補助事

命を支える地域づくりについて



中村のりひと
(明るい未来)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められる。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考える。

Q 観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

A 戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

不登校児童・生徒及び保護者の支援について



しょうじ さとし
(リメンバー)



市の機関と言えるような所

が、その子にとつて最適な学びの場や居場所であるとは限らず民間も含めたその他機関等が大きな意味を持つこともある。地域にある支援、資源の情報が、保護者や子どもたちに届いていることが望まれるが届いていると理解して良いか。



フリースクール等の民間施設の利用について相談を受けた場合、市内や近隣地区にある施設の情報等の提供や、実際に利用の手続を進める際、書類作成の支援を行うなどの対応をしている。今後、より多様なニーズに応えられるよう、市内及び

近隣地区における不登校児童・生徒の居場所となる施設等の情報を収集し、一覧にまとめるなどして周知を図ることを検討している。

不登校支援においても、重層的支援体制整備事業で求められているつなぎ、支援、

出会いの重層化の視点は大切であると考え、こうした視点からの取組が一層進むことを望むが、見解は。

関係する部署や機関とともに以上に連携し、支援の充実を図っていく必要があると捉えていることから、他自治体の先進的な取組等について調査・研究していく。

他に公における契約及び調達に対する考え方、ひきこもり支援について質問した。

本市におけるクマ対策の状況について



よしさわ ゆたか
(自民党志清会)



令和7年9月定例会議において、本年度のクマの目撃情報について質問した時点では、昨年度より減少したことだったが、それからわずか2か月余りで、連日クマに関する目撃・被害情報が飛び交っている。

令和7年度は、11月末時点での本市におけるクマの捕獲数は、

A 捕獲実績については、今年度は〇件。

Q 市民生活への影響は。

A Q クマの出没を警戒し、朝夕の散歩などの外出を控えているということや、五日市中学校で10月に実施を予定していた校外学習を、令和8年1月又は2月に延期するなど、少なからず影響がある。

他にいじめ・不登校について質問した。



エアコン購入支援について



まえくわ えりこ
(共産党)



令和7年度は、11月末時点での本市におけるクマの目撃情報の件数は、昨年度の同時点と比較していかがか。令和7年11月末現在、痕跡件数は25件であり、昨年度の同時期と比較して34件少なくなっている。

Q 生活保護世帯のうち、エアコンが未設置の世帯は把握しているのか。生活保護世帯におけるエアコンの設置状況は取りまとめられないが、ケースワーカーが生活状況を確認する中で把握している。

A ケースワークをする中で、エアコンが設置されていない、又は故障が放置されたといった事例はあつたか。該当する事例はある。その場合、訪問調査の中でエアコンの購入や故障時の修理について、助言や指導を行っている。また、必要に応じて社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度の案内もしている。



令和7年9月定例会議において、本年度のクマの目撃情報について質問した時点では、昨年度より減少したことだったが、それからわずか2か月余りで、連日クマに関する目撃・被害情報が飛び交っている。

Q 令和7年度は、11月末時点での本市におけるクマの捕獲数は、

A 捕獲実績については、今年度は〇件。

Q 市民生活への影響は。

A Q クマの出没を警戒し、朝夕の散歩などの外出を控えているということや、五日市中学校で10月に実施を予定していた校外学習を、令和8年1月又は2月に延期するなど、少なからず影響がある。

他にいじめ・不登校について質問した。

Q 五日市地域の施設は集約化が提案されており、市民は規模縮小を心配している。図書館等が削られないか。再編等の方向性である規模縮小は、公共施設等個別施設計画において、設置義務

A 公共施設数は23施設で全施設数の約21・3%。人口の割合は全人口の約13%。

Q 市西部地域に建物として公民館的な施設・スポーツ施設はどの程度あるのか。人口規模と照らした設置率は低いのか。

Q 生涯学習やスポーツに取り組む市民を増やす目的は。生涯学習やスポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことを目指している。



まえくわ えりこ
(共産党)



令和7年9月定例会議において、本年度のクマの目撃情報について質問した時点では、昨年度より減少したことだったが、それからわずか2か月余りで、連日クマに関する目撃・被害情報が飛び交っている。

Q 令和7年度は、11月末時点での本市におけるクマの捕獲数は、

A 捕獲実績については、今年度は〇件。

Q 市民生活への影響は。

A Q クマの出没を警戒し、朝夕の散歩などの外出を控えているということや、五日市中学校で10月に実施を予定していた校外学習を、令和8年1月又は2月に延期するなど、少なからず影響がある。

他にいじめ・不登校について質問した。

Q 生活保護世帯をはじめ、生活困窮世帯へのエアコンの新規設置や買い替えなどの支援を行うべきと考えるが市の見解は。

A 生活保護世帯への支援は、国から示されるエアコン購入費用の取扱い等に基づき対応している。また、生活困窮世帯へは相談支援の中、助言や利用可能な事業の案内等を行っているためエアコン購入支援は考えていない。

Q 早い段階から市民の意見を聞き取る努力をすべきでは。説明会などを開催し、関係団体等の意見を伺いながら、今後検討する。

Q 制との兼ね合いや今後の見込みを含め、利用度が低調な施設については規模縮小を検討することが妥当であることを検討している。図書館は準

定期と同様に、利用度が低調な施設については規模縮小を検討することが妥当であることを検討している。図書館は準

市内公共施設について



たばたあづみ
(共産党)



市議の
Q&A
市議の

圈央道あきる野インター チエンジ周辺の道路について



天野 正昭
(自民党志清会)



Q & A
市議の
市



夏季の周辺道路の混雑の状況や圈央道の利便性向上の観点から、圈央道あきる野インターチェンジ西側に、国道411号線を経由せず、サマーランド方面に直接アクセスできる道路の新設及び同インターチェンジ付近へのサービスエリア又はパーキングエリアの設置をしてはどうかと考え、市の見解を伺う。

A 首都圏中央連絡自動車道は物流や観光などを通じて地域経済の振興に欠かせない広域インフラであり、全線開通に向けた整備が進む中、交通量も増加している。本市では夏季の観光シーズンに、あきる野インターチェンジ周辺で渋滞が発生していると認識しており、今後は渋滞解消や利便性等を踏まえ、相武国道路事務所やNEXCO東日本と協議していく考え方である。

あきる野市議会活動レポート

産業祭にて「ギカイの時間」を配布



広報広聴委員会では、11月8日と9日に開催されたあきる野市産業祭において、市民の皆さんに市議会をより身近に感じてもらうため、あきる野市議会だより「ギカイの時間」を配布しました。

総務委員会 行政視察



総務委員会では、11月4日から5日にかけて、富山県小矢部市において、「地域に根ざす共生社会づくりを活かした障害者と健常者が共に学び共に行う防災訓練」について、石川県加賀市において、「加賀市版スマートパス構想」について視察しました。

中学生の主張大会最優秀賞受賞者の作品発表を行いました



1月6日の開会会議に先立ち「第30回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会」の中学生の主張大会で、最優秀賞を受賞した東中学校1年生の清水利音さんが「お互いの安全を守り合おう」について発表しました。議場には多くの方が見学に訪れ、清水さんに大きな拍手が送られました。

プロジェクトチームによる主権者教育を実施



11月6日に「ジブンゴト化 PROJECT～自分たちのことは自分たちで決められる～」というテーマで、東中学校特別支援学級の生徒を対象に主権者教育の授業を実施しました。

主な議案に対する会派の賛否一覧

議案番号	件名	議決結果	自由民主党 志清会 (11人) ※1	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野 市議団 (3人)	明るい未来 を創る会 (2人)	くさしき (1人)	リメンバー (1人)
議案 81	あきる野市議会議員及びあきる野市長の選挙における選舉運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	×
議案 84	あきる野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	×	×	×
議案 90	あきる野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 91	あきる野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 93	あきる野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 102	あきる野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	×	○	○	○
議案 103	あきる野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○
議員提出 議案 7-3	最高裁判決を真摯に受け止め、生活保護利用者に対する誠実な被害回復措置を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○

※1 議長は賛否に加わらない。

○：賛成 ×：反対